

データシート

メリット

近頃、ユーザが受けるサービスの体感品質や、呼が他の顧客や通信事業者とどのように接続されるかということに対する理解に、変化が起きています。つまり、サービスプロバイダおよびオペレータは、ネットワーク装置やインターフェースの観点だけでなく、サービスレベルや顧客の体感品質の観点からも測定値やシステム状態を確認する必要に迫られています。どのような視点からもKPI値を利用できることが理想的です。従って、情報を提供する方法として「X-centric」をサービス品質保証アプリケーションに利用することが理かになっています。

多角的な視点から情報を検討することにより、ネットワークとカスタマーをサポートする日々の意思決定に役立つパターンを特定することが容易になります。エンピレックスは、Hammer xCentrix™によりこれを実現しています。ビジネスレベルレポートソリューションであるHammer xCentrix™は、標準出力画面/レポート、スコアカード作成機能、パターンの発見、ルートコースの特定、通話記録(CDR: Call Detail Record)へのドリルダウン等のインタラクティブなデータ分析機能を提供します。

Hammer xCentrixは、非常に柔軟性のある深いレベルの分析を提供し、運用者や管理者はレポート作成、SQLクエリの作成、膨大なデータ処理といった煩雑なタスクから解放され、大量のデータ中から重要なデータを探し出すことが可能になります。

多角的なレポート作成機能を活用することで、ユーザはKPIに関する測定値とレポートを複数の視点から「スライス&ダイス(多次元的分析)」分析が可能

データ自体を操作せずに、容易に大規模なデータベースのデータを多様な方法で閲覧可能

洗練され強力な分析力を持つ100%Webベースの環境でデータを視覚化することで、隠れた傾向が明確に

元となるCDRデータストリームまでデータをドリルダウンする機能により、個別の通話記録まで取得

簡略化された多角的レポートが作成されるため、意思決定が早くなり、運用効率が向上

新規のサービスおよび顧客を監視するために、レポートを迅速に自動化し他のユーザおよびポータルへ配布

柔軟かつカスタマイズ可能な画面表示を使用して、組織内のあらゆるレベルに利用可能なレポートの作成に伴うコストを削減

簡単なURLアクセスを通して、カスタマーおよび相互接続通信事業者とのSLAをサポート

既存のHammer XMS™インフラストラクチャを活用

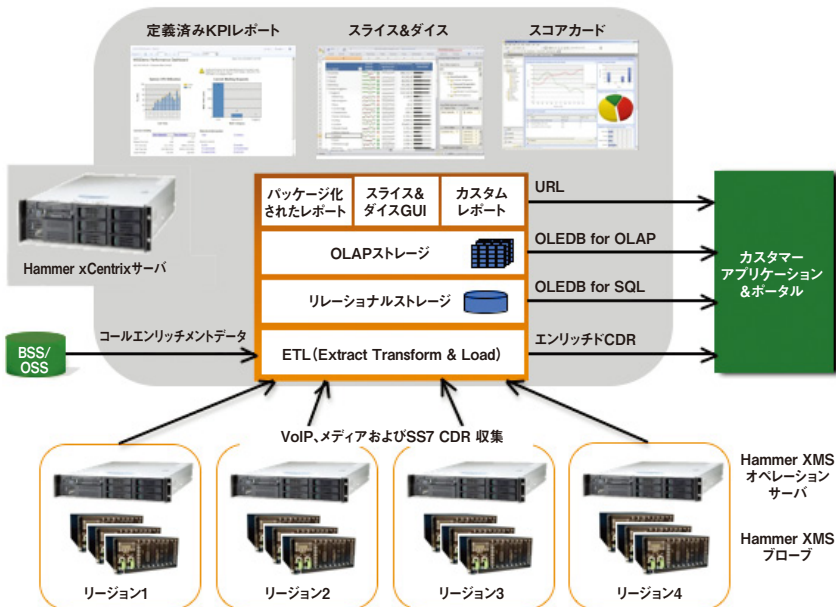


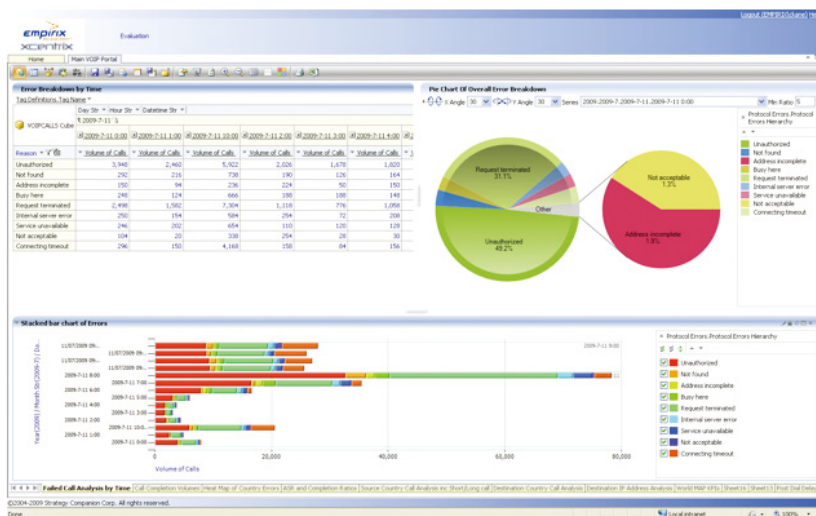
図1. xCentrixのHammer XMSとの統合構成



アーキテクチャ

図1に示したように、Hammer xCentrixプラットフォームはHammer XMSとシームレスに統合可能です。Hammer xCentrixは、強力なサーバおよびソフトウェアで構成されており、各リージョナルオペレーションサーバからCDRとKPIデータを収集し、そのデータを、他のオペレーションサポートシステム (OSS) が提供する該当するカスタマーおよびネットワークデータと組み合わせエンリッチ処理を行います。エンリッチ処理の後、CDRはリージョナルデータベースに保存され、オンライン分析処理 (OLAP) キューブに変換されます。その他の外部OLAPおよびSQLアプリケーションは、OLEDB (Object Linking and Embedding Database) APIを経由して保存されたデータにアクセスできます。

ユーザは、強力な分析力を持ち、かつユーザフレンドリーなWebベースGUIを経由してOLAPキューブにアクセスすることで、隠れた傾向を発見することができます。データをカスタマー、サービス、その他多くの視点から「スライス&ダイス」分析することで、ユーザはビジネスにとって最も重要なこと、つまり自社の顧客に集中することができます。お客様のネットワークおよび顧客に合わせて作られたオプションのレポートパッケージには、分析およびサービス品質保証を直ちに開始できる定義済みレポートが用意されています。以下の定義済みレポートのサンプルは、円グラフと棒グラフで通話エラーを表示しています。



仕様

エントリーレベルxCentrixサーバ
処理能力: 100M CDR/day以下

2U:寸法 17インチ(幅)×20インチ(奥行き)
×3.4インチ(高さ)

AC:100-240VAC;8A、50-60Hz、500W

DC:-48VDC;10A、500W

ハイパフォーマンスxCentrixサーバ
処理能力: 100M CDR/day以上

4U:寸法17インチ(幅)×28インチ(奥行き)
×6.8インチ(高さ)

AC:100-240VAC;16A、50-60Hz、1030W

DC:-48VDC;20A、1030W

メリット

高いスケーラビリティを持ち、コストパフォーマンスに富んだ分析サーバは、オペレータの変化する分析要望に応じて拡張することが可能

コールエンリッチメントのための顧客情報およびネットワーク情報の入力API

外部OLAPおよびSQLアプリケーション用OLEDB API

外部アプリケーション向けのエンリッチ処理されたCDR API

ビジネスレベルのレポート作成のためのモジュール方式アプローチ

レポート作成パックを必要に応じて組み合わせ可能

-スライス&ダイス

-VoIP/メディア

-SS7

-モバイルシグナリング

-モバイルデータ

何百人ものユーザをサポート

xCentrixのレポートおよびビューを個々のポータルと統合する機能

ビルトインポータル機能と100%WebベースのGUI